

ともに語る



2024年4月26日発行

今年度も相談支援部通信「ともに語る」を発行し、特別支援教育や教育相談、関係機関に関わる様々な情報を発信してまいります。本通信は、年に数回の発行を予定しています。本校のホームページにも掲載いたしますので、御覧ください。

また、4月発行の本号は、十勝管内の小中高等学校にも広くお知らせさせていただく目的から「地域版」として発行させていただきましたので、御承知おきください。

校長・副校長・教頭紹介

		
校長 すずき たかひろ 鈴木 隆宏	副校長 どい しょういち 土居 彰一	教頭 ながしま えいこ 長島 英子
十勝地域の特別支援教育の充実に向け、保護者や関係機関の皆様と連携し、子どもの立場にたった（本人目線の）相談・支援に努めたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。	「共に学び、共に育つ学校」の実現に向けて、保護者、学校、関係機関の連携の深化を図り、教育活動の改善・充実と役割の明確化、支援方法の共有に努めてまいります。	児童生徒の皆さんの発達段階を踏まえた効果的な支援をすすめるため、保護者の皆様、地域の関係機関、教職員で連携して前進できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の特別支援教育コーディネーター紹介

			
教諭 いとう よしえ 伊藤 淑江	教諭 きよすえ みか 清末 美香	教諭 しもつ たかこ 下津 貴子	自立活動教諭 きむら しょうた 木村 翔太
専任コーディネーター（小学部）	専任コーディネーター（中学部）	専任コーディネーター（高等部）	専任コーディネーター
本校1年目	本校10年目	本校9年目	本校1年目
保護者、学校、関係機関が連携し、ともに子どもたちの成長を喜び合えたらと思っています。微力ではありますが、できることを精一杯サポートさせていただきたいと思っています。	障害の多様化、ニーズの変化に応えられるよう特別支援教育に関する情報発信と、保護者や関係機関と連携・協力し、つながるサポートを目指していきたいと思っています。	今年度も引き続き、高等部コーディネーターとして、保護者や各関係機関の皆さんとともに、支援の輪が広がるよう努めていきたいと思っています。	保護者や関係機関の皆様との連携も大切にしながら、児童生徒の皆さんの身体の動きや、学習時の姿勢、環境調整等について一緒に考えさせていただきたいと思っています。
*経歴・資格など	*経歴・資格など	*経歴・資格など	*経歴・資格など
・養護学校(知的)指導経験 約20年 ・管内特別支援学級指導経験 約10年	・小中学校通常学級、特別支援学級(知的、自閉症・情緒、肢体)経験有 *特別支援教育士(S.E.N.S) *自閉症スペクトラム支援士	・養護学校(知的)指導経験 28年 *社会教育主事資格有	・理学療法士勤務経験(10年) ・養護学校(肢体不自由)指導経験(6年) *理学療法士(PT)

1 本校の特別支援教育のセンター的機能

平成 19 年 6 月の学校教育法の一部改正により、特別支援学校は地域の幼稚園・小学校・中学校・高等学校などに対して、特別支援教育に関して助言や援助を行うことになりました。本校も特別支援教育コーディネーターが以下の内容で業務を行っています。

(1) 巡回相談 パートナー・ティーチャー派遣事業、十勝管内専門家チーム巡回相談、地域支援、教育支援委員会、帯広市特別支援児保育巡回指導

	令和3年度						令和4年度								令和5年度							
	幼保	小	中	高	校数計	回数	幼保	小	中	高	特支	校数計	回数	幼保	小	中	高	校数計	回数			
パートナー	1	17	7	0	25	31	1	24	2	0	0	27	35	1	17	9	0	27	27			
地域支援	0	1	0	0	1	1	0	2	2	0	1	5	5	0	0	0	0	0	0			
専門家T	1	1	0	0	2	2	0	1	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0			
教育支援委員会	帯広市 7回 音更町 4回 浦幌町 1回					12	帯広市 4回 音更町 4回 浦幌町 1回						9	帯広市 4回 音更町 3回 浦幌町 1回					8			
特別支援児保育巡回指導	0回						0回							帯広市 4回					4			
計	4 6回						5 1回								3 9回							

(2) 研修支援 講演などの研修支援、本校見学等への協力、研修会等の案内

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
講師派遣など	4 回	1 回	0 回	1 回	2 回
見学等の受け入れなど	12 回	7 回	1 回	9 回	2 回

過去の研修支援事例

- ・ H28. 5. 15 小・中学校等と特別支援学校の連携の実際（特別支援教育センター基本セミナー）
- ・ H28. 9. 9 発達障がいの子どもへの合理的配慮とは～校内でまず取り組みたいこと（明星小）
- ・ H28. 11. 30 障害者差別解消法および発達障がいの子どもへの合理的配慮とは（啓北小）
- ・ H28. 12. 16 障害者差別禁止法について・個別の指導計画と個別の教育支援計画について（陸別中）
- ・ H29. 2. 9 配慮が必要な子どもの保育と支援ー就学を意識してー（南町保育園）
- ・ H29. 11. 24 よりよい支援につながる子どもの見とり方（帯教研ミニ講座）
- ・ R1. 5. 19 授業づくりの実際（特別支援教育センター基本セミナー）
- ・ R1. 10. 8 LD・ADHD 等の心理的疑似体験プログラム（帯教研特別支援教育中央部会ミニ講座）
- ・ R1. 12. 13 LD・ADHD 等の心理的疑似体験プログラム（大空小）
- ・ R2. 2. 14 福祉制度から学ぶ発達に課題を抱える子どもたちの住みよいまちづくり（上士幌町子ども発達支援センター保護者学習会）
- ・ R4. 8. 24 LD・ADHD 等の心理的疑似体験プログラム（白人小）
- ・ R6. 1. 9 健康づくりと自立活動（十勝管内特別支援学校養護教諭研究協議会研修会）

(3) 理解・啓発

ホームページによる情報提供



相談支援部通信「ともに語る」



本号は個別の教育支援計画についてのお知らせと、特別支援学校高等部への進学について、自立活動研修の様子について掲載しています。個別の教育支援計画については、昨年度から変更になった部分もありますので、ぜひ一読ください。

1 個別の教育支援計画について

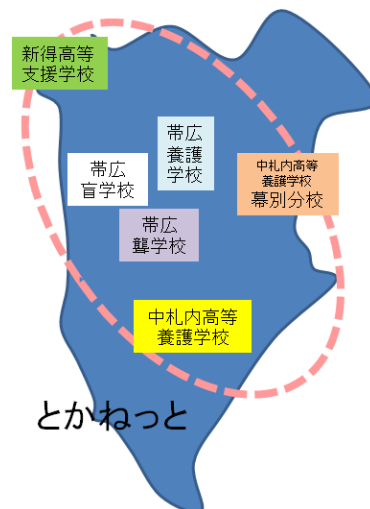
個別の教育支援計画は、児童生徒の教育的ニーズに基づき、保護者や関係機関と連携を図りながら、長期的な視点で教育的支援を行うことを目的に、学校が作成するものです。希望に近い地域生活の現実を鑑み、児童生徒や保護者の教育的ニーズを把握して、福祉、医療、労働等の関係機関と連携を図りつつ、小学部から高等部卒業までの長期的な視点に立って、一貫して的確な教育的支援を行っていくための計画となります。

形式	名 称	内 容	有効期間
1	フェイスシート	本人の出生からの経歴と最新情報 ※が記載されます。	高等部卒業時（または転学・退学時）まで
2	週間生活スケジュール	一週間の生活の予定表です。	変更があれば更新
3	個別の教育支援計画	本人と保護者の希望、課題、目標	長期目標の有効な期間を通して

2 「とかねっと」のお知らせ

「十勝特別支援教育推進ネットワーク協議会（通称：とかねっと）」は、管内特別支援学校（帯広養護学校、帯広盲学校、帯広聾学校、中札内高等養護学校・幕別分校、新得高等支援学校）のネットワークです。また、十勝管内の特別支援教育に関する研究会や、福祉関係、労働関係機関の方々に、推進委員として協力をいただいています。主な活動として、特別支援教育に関わる理解・啓発、研修会の実施、各機関の情報共有などを行っています。今年度も、夏に研修会を行うほか、十勝管内や道内で行われている特別支援教育に関わる研修会の情報発信を行っています。

また、今年度は5月14日（火）に十勝合同庁舎講堂にて、とかねっと主催・十勝教育局が後援の「十勝管内特別支援学校高等部への進学説明会」を開催します。昨年度と同様に、十勝管内の各特別支援学校高等部に関わる概要や特色、教育課程や進路についての情報を発信する予定です。



過去の研修会

- ・令和3年8月5日（木） zoom によるオンラインでの開催 参加者：124名
「発達障害と不登校」～二次的障害と生徒指導、事例から見えたもの～
講師「十勝管内：FR 教育臨床研究所 所長 花輪 敏男氏」
- ・令和4年8月4日（木） zoom によるオンラインでの開催 参加者：92名
「発達障がい実践者が語る！理解と支援」～誰一人取り残さない社会に向けて～
講師：神山 忠 氏
- ・令和5年5月8日（月）十勝合同庁舎、zoom による配信 参加者：49名
「十勝管内特別支援学校高等部への進学説明会」
- ・令和5年7月31日（月）会場：北海道帯広養護学校、北海道帯広盲学校、北海道帯広聾学校
参加者：約80名
「みんなで語ろう！私たち十勝の特別支援教育を！！」

3 教育相談

教育相談は、大きく「本校入学に関わる教育相談」と「発達に関わる教育相談」に分かれます。「本校入学に関わる教育相談」では、小学部、中学部、高等部に入学・転入学を希望される人を対象とし、本校の説明、お子さんの様子についての把握、体験学習（中学部、高等部入学希望者のみ）を行っています。「発達に関わる教育相談」では、主に幼児から高校生まで発達について気になる方を対象とし、お子さんの様子についての把握や特別支援に関わる情報の提供などを行っています。

	令和3年度（回数）					令和4年度（回数）					令和5年度（回数）				
	就学前	小学生	中学生	高校生	計	就学前	小学生	中学生	高校生	計	就学前	小学生	中学生	高校生	計
入学相談	31	24	42	0	97	33	24	42	0	99	26	11	44	0	81
発達相談	0	4	0	0	4	0	2	0	0	2	0	1	0	0	1
合 計	31	28	42	0	101	33	26	42	0	101	26	12	44	0	82

4 帯広養護学校の状況

(1) 児童生徒在籍数の推移

	令和3年度(4月)				令和4年度(4月)				令和5年度(4月)				令和6年度(4月)			
	小学部	中学部	高等部	計	小学部	中学部	高等部	計	小学部	中学部	高等部	計	小学部	中学部	高等部	計
在校	78	60	59	197	81	74	56	211	79	69	68	216	77	64	73	214
訪問	4	1	10	15	3	3	5	11	3	2	4	9	2	3	2	7
合計	82	61	69	212	84	77	61	222	82	71	72	225	79	67	75	221

(2) 出身地別在籍数(令和6年4月)

	帯 広 市	音 更 町	士 幌 町	上 士 幌 町	鹿 追 町	新 得 町	清 水 町	芽 室 町	中 札 内 村	更 別 村	大 樹 町	幕 別 町	池 田 町	豊 頃 町	本 別 町	広 尾 町	浦 幌 町	足 寄 町	陸 別 町	そ の 他	合 計
小学部	47	8	0	0	0	0	3	7	1	0	0	8	1	0	0	1	0	0	1	0	77
中学部	43	7	0	1	0	0	2	2	0	1	1	6	1	0	0	0	0	0	0	0	64
高等部	43	14	1	1	1	0	0	2	1	2	1	3	0	0	1	1	0	0	0	2	73
訪問学級	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7
合計	134	32	1	2	1	0	5	11	2	3	2	17	2	0	1	2	0	0	1	5	221

5 居住地校交流

居住地校交流とは、小学部・中学部の児童・生徒が自宅周辺地域とのつながりを維持するため、校区にある公立小・中学校等と行う交流教育活動です。交流活動には、居住地の学校及び会場に出向いて交流を行う直接交流と通信や手紙のやりとりを行う間接交流があります。

(過去の交流実績)

令和4年度

*直接交流

帯広市立光南小学校(1名) 1回
 帯広市立豊成小学校(1名) 1回
 帯広市立つつじが丘小学校(1名) 2回
 帯広市立翔陽中学校(1名) 1回
 音更町立共栄中学校(1名) 2回

帯広市立啓西小学校(2名) 2回
 帯広市立栄小学校(1名) 1回
 帯広市立帯広第七中学校(1名) 1回
 音更町立音更小学校(1名) 1回

実施数合計 10名 延べ 12回

令和5年度

*直接交流

帯広市立緑丘小学校(1名) 1回
 帯広市立帯広第二中学校(1名) 1回
 帯広市立帯広第五中学校(1名) 1回
 音更町立下音更小学校(1名) 2回
 芽室町立芽室中学校(1名) 1回

帯広市立稲田小学校(1名) 1回
 帯広市立西陵中学校(1名) 1回
 帯広市立翔陽中学校(2名) 2回
 音更町立共栄中学校(1名) 2回
 幕別町立札内北小学校(1名) 1回

実施数合計 11名 延べ 13回

(文責：下津)